



ごみ減量化と再資源化につながる 新たな事業をスタートします

田原本町はSDGsの達成と、令和3年7月に宣言したゼロカーボンシティの実現に向け、住民の協力を得て、新たな事業を実施します。

1. 食品資源循環事業（令和4年3月からスタート）

家庭や学校給食から出る調理くずや食べ残しによる生ごみを、学校やモデル地区の住民に分別していただきます。そして、それを町が収集し、町施設に設置した発酵分解装置に投入して、堆肥に変えていきます。

出来た堆肥は花の種苗と一緒に分別協力いただいた住民や学校に配布し、花や野菜を育ててもらうことで循環社会を実現すると同時に、花によりコロナ禍におけるストレス緩和を図ります。



2. 電動生ごみ処理機貸出事業（令和4年4月から貸出スタート）

本町では、家庭での生ごみの減量化、再資源化を促進するため、電動生ごみ処理機や生ごみ処理容器を購入し、生ごみの減量や堆肥にして活用される人に対して助成金を交付しています。

今回、家庭用電動生ごみ処理機について、

「どのようなものを買えばいいか迷っている」「生活に合うか試してみたい」という人のために、町から電動生ごみ処理機を一定期間貸し出しする事業を開始します。住民の皆さんが電動生ごみ処理機等の導入を検討しやすい環境をつくっていくことで、より活用の促進を図っていきます。

3. 雑がみ保管袋配布事業（令和4年4月配布）

燃えるごみの中に多く含まれる紙類から、リサイクル可能な紙の分別を推進し、ごみの減量化・再資源化を促進するため、リサイクル可能な紙やその排出方法が分かるよう印字された紙袋（雑がみ保管袋）を各世帯に配布。



【雑がみ保管袋イメージ】

この件に関するお問い合わせ先：産業建設部環境未来推進課

TEL 0744-33-1660